

第8回「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催 関係機関・団体が活動状況や連携等を活発に意見交換

金融広報中央委員会では、5月12日(火)、日本銀行本店で第8回目の「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催し、多数の関係機関・団体等にご参加いただきました。

初めに恵谷事務局長より、「サブプライム問題に代表されるように、今回世界的にも、金融知識の不足が認識され金融教育の重要性が一段と高まっている環境の中で、皆様方との緊密な連携

を図って、知恵やノウハウを結集させた効果的な活動の展開が大事であり、本日の会議を有意義な意見、情報交換の場としてご利用いただきたい」との挨拶がありました。

次に、渋谷事務局次長から前年度の活動実績を踏まえた、当委員会の21年度活動方針等の説明があり、その後、参加者からは最近の活動状況や刊行物が紹介され、有意義な情報交換がなされ

ました。今回の会議に参加したメンバーからは「各団体の最近の活動状況を知ることができた」、さらには、「具体的な活動の工夫や提案等の情報も共有できたこと」で、金融広報中央委員会を中心に、お互いに連携を深めることが十分に可能だと感じた」といった声から、参加機関・団体等に対して一層の連携や協力を依頼し、本会議を閉会しました。

また、今回の会議に参加したメンバーからは「各団体の最近の活動状況を知ることができた」、さらには、「具体的な活動の工夫や提案等の情報も共有できたこと」で、金融広報中央委員会を中心に、お互いに連携を深めることが十分に可能だと感じた」といった声から、参加機関・団体等に対して一層の連携や協力を依頼し、本会議を閉会しました。



作文・小論文コンクールに 応募してみませんか？

詳細は知るぼるとホームページをご覧ください
(www://shiruporuto.jp/)

金融広報中央委員会では、毎年、コンクールを実施しており、本年度も6月より公募を開始しています。

入賞者からは「作文をきっかけにお金について深く考えることができた」、「夢に向かって頑張ろうという気持ちが強くなった」といった声が聞かれました。

みなさまのご応募をお待ちしております。

第42回「おかねの作文」コンクール

(対象:中学生、締切:9月20日)

テーマを次の中から選んで、400字詰め原稿用紙5枚で書いてみましょう。

- ①私の活きたおかねの使い方
- ②いま、地域を元気にしている会社や商店について考える
- ③将来の夢の実現とおかねの関わり
- ④携帯電話やインターネットとの付き合い方
- ⑤悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策
- ⑥その他(自由テーマ)

「金融と経済の明日」第7回高校生小論文コンクール

(対象:高校生・高等専門学校生、締切:9月20日)

テーマを次の中から選んで、400字詰め原稿用紙6~10枚で書いてみましょう。

- ①あなたのライフプランと働くことについて考えよう
- ②超高齢社会におけるこれからの年金・保険
- ③世界の経済情勢について考える
- ④日本経済を活性化する将来有望な産業とは
- ⑤インターネット取引の上手な活用方法
- ⑥その他(自由テーマ)

「金融教育を考える」第6回小論文コンクール

(対象:教師・教師を目指す大学生等、締切:9月30日)

次のテーマにより2,000~8,000字でご応募ください。

- ①金融教育に関する授業や学校行事での実践報告
- ②これから取り組んでみたい金融教育
- ③これからの時代に求められる金融教育
- ④金融教育をさらに普及していくための提言
- ⑤その他